北海道岩見沢農業高等学校

校　長　廣　瀬　之　彦

生徒数　　７９７名

学級数　　２１学級

職員数　　９３名

ー　次代の農業科学技術系人材を育成する学校経営　ー

「次代の農業科学系人材」の育成を目指し、大学や研究機関、企業等と連携した農業教育の促進や、課題研究を中心とした教科等横断的な学習プログラムの開発と実践の推進に取り組んでいる。

特に、平成25年度からは文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定校として、生徒の課題解決能力や論理的思考力、国際性の育成、持続可能な農林業とするための科学的技術の習得に大きな成果を上げている。

ー　農業を科学的視点で捉える教育活動　ー

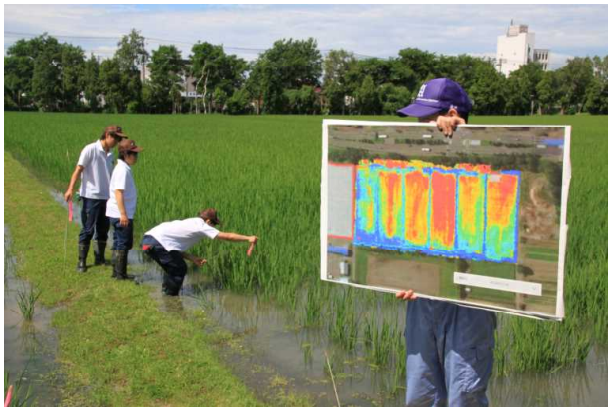
農業と科学（理科・数学）と言語（英語・国語）教育を融合させた教科等横断的な学習プログラムにおいて、農業を科学的視点で捉える教育活動に取り組んでいる。

特に、探究的な学びから、科学的リテラシーや科学観、倫理観、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、論理的に説明する方法や数的根拠を持って討論するプレゼンテーション能力、国際性の育成に成果を上げている。

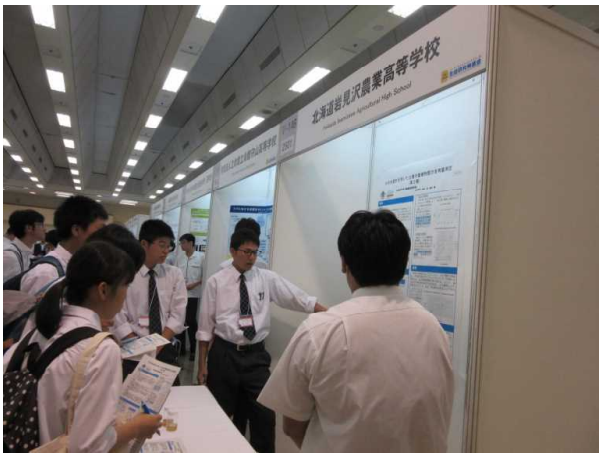
ー　地域と協働した「課題研究」・「総合実習」等の取組　ー

生徒が主体的な探究活動を行えるように、地域の大学や研究機関、企業等と協働した教育活動に取り組んでいる。

特に、ＩＣＴの活用、スマート農業の推進、ＧＧＡＰ認証取得、ＨＡＣＣＰによる衛生管理、農業クラブ活動、幼・小・中学校との連携等による「課題研究」と「総合実習」は、次代の農業に関連する産業人の育成と学習成果を地域社会へ還元する実践として成果を上げている。



ー　自ら挑戦する姿勢を持つ岩農生　ー



子どもは「課題研究」の取組を家でよく話してくれます。研究内容や調査方法、大学教授の講演などについてです。子どもが自ら挑戦する姿勢を持って主体的に取り組んでいる姿を見ると、充実した学校生活が分かります。

地域を支える産業人として、社会で活躍をしている岩農卒業生を多く見かけます。今後も、農業を科学的な視点で捉え、地域と協働した先進的な取組を継続させて下さい。

（保護者の声）